

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：川崎市中原保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：紙屋 未央	定員（利用人数）： 130名（利用人数：121名）名	
所在地：〒211-0062 川崎市中原区小杉陣屋町2-3-1 中原区保育・子育て総合支援センター内		
TEL：044-733-3835	ホームページ： <a href="http://www.city.kawasaki.jp/450/page/0000031250.html">http://www.city.kawasaki.jp/450/page/0000031250.html</a>	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：1971年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：川崎市		
職員数	常勤職員：36名 非常勤職員：17名	
専門職員	（専門職の名称） 名	
	保育士：39名 調理員：4名	
	保育補助：2名 看護師：1名	
	栄養士：3名 用務員：2名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室：7室	園庭：あり
	トイレ：4ヶ所	
	調理室：1ヶ所	
	事務室：1室	
	面談室：1室	
	教材室：1室	
職員休憩室：1室		

③ 理念・基本方針

〈保育理念〉

- ・子どもの権利を保障し、未来を担う子どもたちの生きる力の基礎を育む保育

〈理念に基づく保育内容〉

- ☆子どもが自ら遊びたくなるような環境を作り、挑戦したりやり遂げたりする体験ができる保育
- ☆子ども一人一人を理解し、意欲関心を示したことに集中できる保育
- ☆落ち着いた環境の中で食べることに意欲関心が持てる保育
- ☆異年齢児との関わりの中で、大きい子への憧れや小さい子への思いやりを持てる保育
- ☆子どもが遊びを決め、行動できる力を育む保育
- ☆集団生活を通し、伝統やルールなど社会性を育てる保育

〈園の保育目標〉

☆心身ともに健康で生き生きと遊ぶ子ども  
☆思いやりのある子ども

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

〈0、1、2歳児〉

一人ひとりの思いや欲求を十分に受け止めてもらい、自分でやってみようとする意欲を大切にしています。生後43日目からのお子さんをお預かりし、安全に生活できる環境を整えています。手作り遊具やマルチパーツなど自分の興味や関心に合わせて触れたり、見立てたり、構成したりできる教材を各保育室に常設しています。人形やごっこ遊びではジェンダーに捉われず自由に自分を表現できるよう、保育者が共感的なまなざしで対応するように心がけています。医療的なケアが必要だったり、障害を持つ子どもたちもクラスの一員として共に育ちあうインクルーシブな視点でのクラス運営を意識しています。また、保護者に保育内容に興味を持ってもらえるよう、個人面談や保護者参加行事の他に全クラスで保育参観を取り入れています。

〈3、4、5歳児〉

子どもたちが達成感や充実感を味わったり、様々な友だちと関わったりすることで、意欲や社会性（人と関わる力）をもち「自分が好き」という気持ちを持てるよう援助しています。また、子ども参加型の防災教育を行い、自ら健康で安全な生活を過ごせる力を身に付けられるようにしています。子どもたちが自分の意見や希望を表明する機会を積極的に作り、年長児クラスでは子どもミーティングを継続して開催し、行事内容や日常生活の約束事について考えたり、SDG'sをテーマにした話し合いや子どもたちが望む保育園について意見を出し合う場を設けています。

〈その他〉

一時預かり保育を実施しています。

栄養士3名による直営給食の利点を生かし、未就学児からの食育活動に取り組んでいるほか、看護師や保育士と連携した健康集会を年間計画に基づき実施しています。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年9月28日（契約日）～ 令和5年3月31日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（2018年度）

#### ⑥総評

◇特長や今後期待される点

1) 多くの専門職員が子どもたちを見守る環境です

園では、保育士、看護師、栄養士の職員で定期的に三者連携集会を開き、それぞれの専門的視点から子どもたちを観察し情報を共有しています。看護師は、子どもの日々の健康観察や定期的な健診結果などを踏まえて保育計画を立てています。また、看護師は保育士に心肺蘇生法やAEDの使い方、災害時の避難に備えて”さらしでのおんぶ”の仕方を指導しています。栄養士は、アレルギー疾患児の給食の提供について保護者と面談し、個別の指導計画を作成しています。離乳食の進め方は、担任・栄養士と保護者で毎月の「離乳食家庭連絡票」で確認し、移行の判断をしています。さらに、用務担当職員がおり、園内の環境整備や園舎の管理をしています。園には、さまざまな立場から子どもたちを見守る環境が整備されています。

2) 公立保育園としての機能、地域の子育て支援に取り組んでいます

新たな公立保育園の機能として、全体的な計画の中に「地域の子ども・子育て支援」を位置づけています。園庭開放やベビーカースルーでの貸出絵本、電話子育て相談、

事前申込制のオンライン子育て相談に取り組んでおり、地域の子どもがいつでも園に遊びに来られる環境づくりを行っています。また、「にこにこサタデー」と称して、未就学児親子との遊びやフリートークを実施し、「Welcome to なかはらひろば」では、第1子や中原区に転居してきて1年以内の親子を対象に、保育士・看護師・栄養士の連続講座を開催するなど、地域の子育て支援に取り組んでいます。

#### 3)優れた職員体制のもとで保育が実施されています

殆どの職員が保育士資格を持つ保育体制で、資格者の多くが川崎市主任職以上の保育のベテランです。一人ひとりが様々な経験を持ち、園内の課題を検討、改善するプロジェクトに参加しています。「デジタルアンケート」や「ICTソフトを活用した意見集約」、「休憩室壁面の付箋コメント」、「少人数のワーク」などの活動で連携し、共通認識や相互理解を深め、保育の質の向上に努めています。

#### 4)職員参画のもとでの事業計画書作成が期待されます

運営方針（事業計画）は「川崎市公立保育所運営指導方針」をもとに、基本的な考え方を主体に記載していますが、園の自己評価の結果等が計画書に反映されていません。職員の振り返りや自己評価の結果等をまとめ、次年度の重点目標等として具体的に検討することが期待されます。新年度の事業計画は、職員の参画や意見の集約・反映のもとに行われ、数値目標や達成基準を明確にし、あらかじめ定められた時期、手順に基づいて実施状況の把握が期待されます。

#### 5)必要な福祉人材の早急な確保が期待されます

優れた職員体制のもとで保育目標に沿った保育が実施されていますが、今年度は職員の病休や、医療的なケア等が必要な子どもを受け入れたことなどの諸事情により、職員の人員体制に課題が現れています。現在、職員の繁忙感が強まり、保育人員の早急な増員を願う声が多くなっています。保育の質を確保するため、必要な人員体制に向けての採用活動を行い、職員の追加配置が期待されます。

### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の受審を通して、本園の運営について評価できる点と、今後取り組んでいくべき課題が明確になったと感じています。

前者については、それぞれの専門性を生かし、食事、健康、危機管理などの視点から子どもが安心して過ごせる場所を作るための取組や、子どもの声を聞いて保育内容に反映したり、職員が子ども理解を深める取組を、総評の中で具体的な事業や方法を挙げて評価していただいております。今後もさらに発展させていくことで保育の質の向上を図っていきたいと考えます。

後者については、感染症対策による制約がありながらも、工夫して地域子育て支援事業を推進してきたことを評価していただく一方で、コロナ禍ということもあり地域との連携にはまだ課題があることがわかりました。今後は、積極的に地域の人々との交流の機会を設け、本園への理解を深めたり、緊急時の連携を図るなどの地域交流や地域貢献を推進していきます。また、本園の事業計画や中期的計画を本市の上位計画に基づき園の独自性を持つ内容で策定すること、策定の過程に職員の積極的な参画を図ること、及び課題の達成度を数値化するなど、目指すものがわかりやすく、伝わりやすい内容になることを目指して取り組んでいきます。

### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり